

2019年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年12月25日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL http://www.pickles.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2998-7771
 四半期報告書提出予定日 2019年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第3四半期	30,984	10.1	1,160	5.9	1,277	8.7	758	△2.3
2018年2月期第3四半期	28,136	2.7	1,096	65.0	1,174	61.5	776	59.9

(注) 包括利益 2019年2月期第3四半期 768百万円 (△2.8%) 2018年2月期第3四半期 790百万円 (54.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第3四半期	118.53	117.74
2018年2月期第3四半期	131.56	130.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第3四半期	22,484	11,757	52.0
2018年2月期	21,123	11,129	52.5

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 11,695百万円 2018年2月期 11,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年2月期	—	0.00	—		
2019年2月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,386	7.4	1,301	15.0	1,413	14.6	841	△3.5	131.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 一、除外 一社 （社名） 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期3Q	6,398,000株	2018年2月期	6,398,000株
② 期末自己株式数	2019年2月期3Q	257株	2018年2月期	176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期3Q	6,397,766株	2018年2月期3Q	5,901,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続しているなか、個人消費も堅調さを保っており引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国やEU諸国の情勢など、世界経済の不確実性は高く、日本経済に与える影響への懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、人手不足による人件費や物流費の増加など様々なコスト上昇のリスクが顕在化するなど、厳しい環境が続く見通しであります。そのようななか、消費者の安全・安心への関心が高いことからフードディフェンスへの取り組みや、「個食」、「中食」などの消費者のニーズの多様化への対応などが求められております。

このような状況のもと、当社グループは、北海道から九州にかけて日本全国での製造・販売体制を整備しており、さらに、3月には、株式会社ピクルスコーポレーション西日本において佐賀工場を竣工するなど、全国ネットワークの強化も図っております。この全国ネットワークを活用し、既存得意先への拡販や新規取引先の開拓に取り組まれました。また、販売促進活動の一環として、インスタグラムを活用したフォローキャンペーンや、ハロウィンキャンペーンを実施いたしました。

製品開発面では、当社グループの看板商品である「ご飯がススム キムチ」シリーズのリニューアルを実施し、株式会社フードレーベルから「牛角国産白菜キムチ」や、「焼肉チャンピオンが本気で作ったキムチ」、さらに、株式会社ピーネコーポレーションからアイススイーツ「糰とかぼちゃ」や、「やさしい糰甘酒 むらさきいも」などそれぞれ3種類の新商品を開発しております。

また、当社独自のピーネ12乳酸菌を活用した商品を展開する「ピーネオンラインショップ」と、化学調味料不使用にこだわった漬物を展開する「八幡屋オンラインショップ」の2つのECサイトを4月よりオープンしております。その後、展示会出展などを行い、ブランドの認知度向上を図っております。

売上高は、2017年12月に株式会社手柄食品を子会社化した効果や、「ご飯がススム キムチ」シリーズを中心としたキムチ製品の販売が好調に推移したこと、仕入商品の売上が増加したことなどにより増収となりました。

利益については、株式会社ピクルスコーポレーション西日本の佐賀工場の新設による影響や、天候による原料高騰の影響などがありましたが、増収効果などにより、営業利益及び経常利益は増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は30,984百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益1,160百万円（同5.9%増）、経常利益は1,277百万円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は758百万円（同2.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,360百万円増加し、22,484百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が341百万円、新設の佐賀工場の稼働等により建物及び構築物が1,514百万円及び機械装置及び運搬具が471百万円それぞれ増加したことと、現金及び預金が932百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて733百万円増加し、10,726百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が229百万円、1年内返済予定の長期借入金が223百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて627百万円増加し、11,757百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が598百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の業績予想につきましては、2018年4月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,806,078	2,873,297
受取手形及び売掛金	3,949,684	4,290,758
商品及び製品	229,443	358,105
仕掛品	54,158	74,938
原材料及び貯蔵品	330,342	308,011
繰延税金資産	65,082	63,971
その他	47,543	203,135
貸倒引当金	△163	△254
流動資産合計	8,482,169	8,171,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,574,106	4,088,855
機械装置及び運搬具(純額)	959,058	1,430,579
土地	6,543,375	6,526,515
リース資産(純額)	64,545	52,428
建設仮勘定	856,515	588,396
その他(純額)	33,970	50,870
有形固定資産合計	11,031,571	12,737,645
無形固定資産		
のれん	815,020	738,058
その他	64,458	86,925
無形固定資産合計	879,478	824,983
投資その他の資産		
投資有価証券	439,649	461,481
繰延税金資産	181,638	178,794
その他	110,068	110,689
貸倒引当金	△1,108	△1,093
投資その他の資産合計	730,247	749,872
固定資産合計	12,641,297	14,312,501
資産合計	21,123,466	22,484,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,290,158	3,519,574
短期借入金	1,550,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	923,757	1,146,804
リース債務	23,883	19,632
未払法人税等	189,591	258,069
賞与引当金	115,668	52,207
役員賞与引当金	52,950	—
その他	1,800,629	1,992,328
流動負債合計	7,946,638	8,538,617
固定負債		
長期借入金	1,240,963	1,240,260
リース債務	20,118	5,394
繰延税金負債	26,377	26,073
退職給付に係る負債	370,150	398,989
負ののれん	209,603	181,447
その他	179,789	336,160
固定負債合計	2,047,003	2,188,325
負債合計	9,993,641	10,726,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	2,107,664	2,107,664
利益剰余金	8,131,911	8,730,282
自己株式	△131	△297
株主資本合計	10,980,344	11,578,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,510	117,060
その他の包括利益累計額合計	107,510	117,060
新株予約権	37,196	56,975
非支配株主持分	4,773	4,936
純資産合計	11,129,825	11,757,521
負債純資産合計	21,123,466	22,484,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)
売上高	28,136,008	30,984,777
売上原価	21,457,587	23,697,331
売上総利益	6,678,421	7,287,446
販売費及び一般管理費	5,582,136	6,126,995
営業利益	1,096,285	1,160,450
営業外収益		
受取利息	443	4
受取配当金	4,150	4,482
負ののれん償却額	28,155	28,155
持分法による投資利益	2,311	2,773
受取賃貸料	33,400	33,261
事業分量配当金	5,843	5,917
その他	34,550	65,880
営業外収益合計	108,855	140,474
営業外費用		
支払利息	6,091	6,075
賃貸費用	18,738	17,808
支払手数料	5,416	-
営業外費用合計	30,246	23,883
経常利益	1,174,894	1,277,041
特別利益		
補助金収入	21,583	15,396
特別利益合計	21,583	15,396
特別損失		
固定資産処分損	4,288	30,386
関係会社株式売却損	17,492	-
特別損失合計	21,780	30,386
税金等調整前四半期純利益	1,174,697	1,262,051
法人税等	397,144	503,572
四半期純利益	777,552	758,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,191	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	776,360	758,315

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	777,552	758,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,557	9,550
その他の包括利益合計	12,557	9,550
四半期包括利益	790,110	768,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	788,918	767,866
非支配株主に係る四半期包括利益	1,191	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。